

# 途切れない、 つながる支援を目指して

実践報告会

発達障害を抱える子どもを育てる保護者は、「あれ？」と気になってから、あるいは指摘を受けてから就学までの幼児期という時期に、どのような制度や機関（医療・心理・児童発達支援など）と出会い、選び、利用しているのだろうか、学齢期まで途切れなく支援を継続して活用するために、保護者はどのような苦労や工夫をされているのだろうか。今回はすでに学齢期に入った子どもを育てている保護者の方々に就学前までの時期を振り返ってお話いただいた後で、助言者のコメントをうかがい、さらに参加者も一緒になって学齢期に向けての「途切れない支援、つながる支援」について考えてみたいと思います。



助言者：勝盛宏氏 他  
(河北総合病院)

司会：森田慎一郎氏  
(東京女子大学)

2020年

3月1日(日)

13:00~16:00

場所：東京女子大学 24202 教室

話題提供者：未就学時より児童発達支援事業を利用してきた保護者数名



対象：発達障害に関心のある方

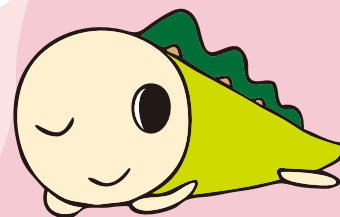
定員：200名(直接会場にお越しください)

託児：未就学児 先着5名まで

(受付期間 2020年2月3日より) 申込みは下記連絡先へ。

問い合わせ：杉並区立こども発達センター／

地域支援講座担当 電話 03-5317-5661

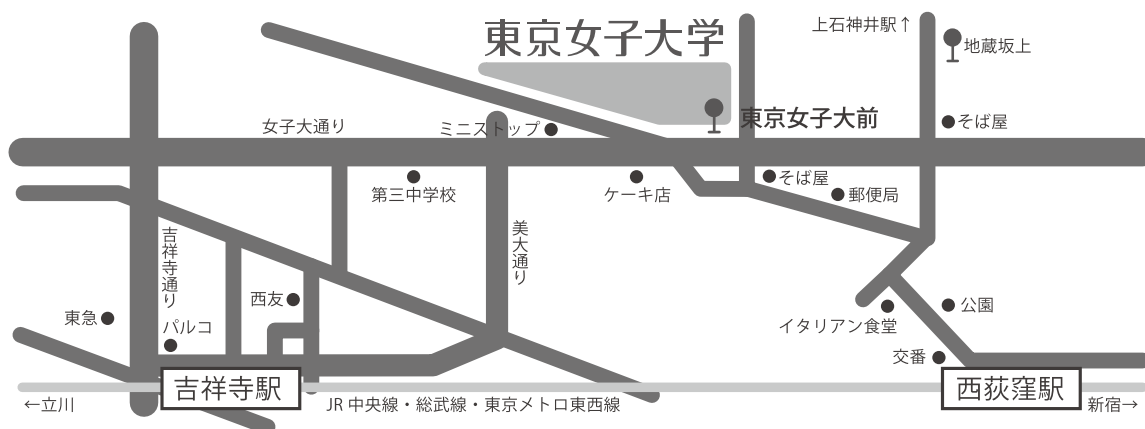


杉並区内の児童発達支援事業所の紹介やポスター展示のコーナー、南相馬市の雑貨やドーナツ等の販売、東京女子大学のハンドベルクワイヤ Felice の演奏があります。当日は、手話通訳が入ります。

実践報告会に向けて皆様の意見を募集します。

保護者、教員、支援者などで、今回のテーマに関するお考えやご意見をお寄せ下さい。実践報告会の中でご紹介させていただくことがありますが、その場合には氏名や機関名など個人が特定される情報は修正、あるいは削除して発表・掲載させていただきます。ご了承ください。

2月14日までに杉並区立こども発達センター／地域支援講座担当まで  
FAX：03-5317-5664にて送付してください。



JR 中央線西荻窪駅下車 12 分 バス利用のときは北口より吉祥寺駅行で東京女子大前下車